

インフォシスとエヌビディア、ジェネレーティブ AI で 世界中の企業の生産性向上を支援するため協業を発表

- 業界を横断するジェネレーティブ AI アプリケーションとソリューションで生産性向上を推進するために必要な専門知識と技術を提供するため、協力関係を拡大
- 新しいセンター・オブ・エクセレンスでは、エヌビディアの AI 技術についてインフォシスの従業員 5 万人をトレーニングする予定

インド(ベンガルール),カリフォルニア (サンタクララ) - 2023 年 9 月 20 日: 次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーである [インフォシス](#) (NSE,BSE,NYSE: INFY) とエヌビディア (NASDAQ : NVDA) は本日、ジェネレーティブ AI を活用したアプリケーションとソリューションで世界中の企業の生産性向上を支援することを目的に、戦略的協業を拡大したことを発表しました。

今回の提携拡大により、モデル、ツール、ランタイム、GPU システムからなる NVIDIA AI Enterprise エコシステムが、Infosys Topaz のジェネレーティブ AI 技術を活用したサービス、ソリューション、プラットフォームに提供されることとなります。この統合により、インフォシスは、顧客が採用可能な製品を開発し、ジェネレーティブ AI をビジネスに容易に統合できるようになります。

さらに、インフォシスは NVIDIA Centre of Excellence を設置する予定です。このセンターでは、NVIDIA AI テクノロジーに関するトレーニングと認定を従業員 50,000 人に提供し、さまざまな業界の幅広い顧客にジェネレーティブ AI の専門知識を提供します。

インフォシスの共同創業者兼会長であるナンダン・ニレカニは、次のように述べています。「当社は、世界中のお客様により良い AI ベースのサービスを提供するため、AI ファースト企業へと変貌を遂げつつあります、Infosys Topaz が提供するサービスとソリューションは、エヌビディアのコアスタックを補完するものです。両社の

強みを組み合わせ 50,000 人の従業員にエヌビディアの AI 技術を習得させることで、エンドツーエンドで業界をリードする AI ソリューションを生み出し、AI ファーストを目指す企業を支援します」

エヌビディアの創業者兼 CEO であるジェンセン・ファン氏は次のように述べています。「ジェネレーティブ AI が企業の生産性向上を促進する次の波になります。NVIDIA AI Enterprise エコシステムは、ジェネレーティブ AI のプラットフォームを提供するために急速に拡大しており、エヌビディアとインフォシスは、企業がこのプラットフォームを使用してカスタムアプリケーションとソリューションを構築するのを支援する専門家集団を共に作り上げていきます」



エヌビディア創業者兼 CEO のジェンセン・ファン氏とインフォシス共同創業者兼会長のナンダン・コレカニ

フルスタック NVIDIA 統合ソリューションがインフォシスの高度なソリューションを可能に

インフォシスは、ハードウェアとエンタープライズグレードのソフトウェアを含むフルスタックの NVIDIA [ジェネレーティブ AI プラットフォーム](#)を使用して、事業運営全般にわたる革新に取り組んでおり、顧客が事業運営、営業、マーケティング向けにジェネレーティブ AI アプリケーションを開発するのを支援しています。

[NVIDIA NeMo™](#) LLM フレームワークや、コンピュータビジョン用の [NVIDIA Metropolis](#)、そして音声 AI 用の [NVIDIA Riva](#) を含む、NVIDIA AI Enterprise フレームワーク、事前学習済みモデル、ツールキットに

より、インフォシスは業界を横断する複数の AI ファーストの企業向け製品を既に開発しています。これらには以下が含まれます：

- NVIDIA Metropolis と統合された [Infosys Video Analytics](#) プラットフォームは、小売業界の課題に対応するためにコンピュータビジョンの力を活用し、ストレスを感じないショッピング体験、マーチャンダイジングとプラノグラム（棚割り計画）遵守の改善、在庫の盗難、破損、そして誤発注による損失の削減、在庫の監視、リアルタイムインテリジェンスの抽出、健康や安全などのコンプライアンスチェック、そして同じサービスを物流、製造、公共事業にも提供します。
- [Infosys Generative AI Labs](#) と NVIDIA NeMo フレームワークを組み合わせることで、企業は大規模な言語モデルを微調整し、迅速に展開することができます。これにより、コストを抑えられ、容易に拡張可能なプラットフォームが提供されます。また、Infosys は [NVIDIA NeMo Guardrails](#) を使用して Responsible AI Toolkit を強化し、IP 侵害、偏見や有害性、幻覚、セキュリティ脅威など、生成 AI の潜在的リスクから保護するための強力なインテリジェントプラクティスを構築します。
- [Infosys Cortex](#) と [NVIDIA Riva 音声・翻訳 AI](#) を使用して、AI 主導の次世代コンタクトセンター・ソリューションを開発しています。これには、顧客の声を分析する機能や、顧客のニーズや感情をリアルタイムで把握する機能が含まれています。これらの機能は、顧客満足度を高め、ブランドロイヤリティ向上に役立ちます。

この協業はデジタル化アプリケーションにも及び、3D ワークフロー、デザインコラボレーション、デジタルツイン、ワールドシミュレーションなどの企業ユースケース向けのソリューション開発にも重点を置いています。

インフォシスとエヌビディア、5G、サイバーセキュリティ、エネルギー移行などの分野でも AI を活用したソリューションを共同開発しています。

エヌビディア社について

NVIDIA (NASDAQ : NVDA) は、1993 年に設立されて以来、アクセラレーテッドコンピューティングのパイオニアです。同社は 1999 年に GPU を発明し、PC ゲーム市場の成長を促し、コンピュータグラフィックスを再定義し、最新の AI の時代を切り開き、さまざまな市場での産業のデジタル化を推進しています。NVIDIA は現在、業界を変革しているデータセンター規模の製品群を備えたフルスタックコンピューティング企業です。詳細については <https://nvidianews.nvidia.com/> をご覧ください。

NVIDIA の将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、以下のような記述が含まれていますが、これらに限定されるものではありません： NVIDIA と Infosys の協業（その利点と影響を含む）、企業の生産性を向上させる次の波を促進するジェネレーティブ AI、ジェネレーティブ AI のプラットフォームを提供するために急成長する NVIDIA AI Enterprise エコシステム、NVIDIA と Infosys は、企業がカスタムアプリケーションやソリューションを構築するためにこのプラットフォームを使用するのを支援する専門家の労働力を創出する； また、NVIDIA AI Enterprise、NVIDIA NeMo、NVIDIA Metropolis、NVIDIA Riva を含む当社の製品、サービス、技術の利点、影響、および利用可能性は、リスクと不確実性を伴う将来の見通しに関する記述であり、予想と大きく異なる結果となる可能性があります。実際の結果が大きく異なる可能性のある重要な要因には、以下が含まれます： 世界的な経済状況、当社製品の製造、組立、パッケージング、テストにおける第三者への依存、技術開発や競争の影響、新製品や新技術の開発または既存製品や技術の強化、当社製品やパートナー企業の製品の市場での受け入れ、設計、製造、ソフトウェアの欠陥、消費者の嗜好や需要の変化； また、NVIDIA が米国証券取引委員会（SEC）に提出する年次報告書（Form 10-K）および四半期報告書（Form 10-Q）を含む（ただし、これらに限定されない）最新の報告書に随時詳述されているその他の要因もあります。SEC に提出された報告書のコピーは、エヌビディアのウェブサイトに掲載されており、エヌビディアから無料で入手することができます。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、本書の日付現在においてのみ述べたものであり、法律で義務付けられている場合を除き、エヌビディアは、将来の出来事や状況を反映するためにこれらの将来の見通しに関する記述を更新する義務を一切負いません。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代のデジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーです。30 万人以上の従業員が、人々や企業、コミュニティの可能性を最大限に引き出し、次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステムと運営の管理経験を持ち、クラウドを活用したデジタルトランスフォーメーションに乗るクライアントを 50 以上の国で専門的にサポートしています。AI によるコアを提供し、アジャイルなデジタルを規模化してビジネスを強化し、常に学習し続けることで持続的な改善を推進するために、デジタルスキルや知識、アイデアをイノベーションエコシステムから転送します。私たちは、多様な才能が包括的な職場で繁栄する、適切に統治され、環境に配慮した組織であることに深い責任を感じています。

www.infosys.com を訪れて、Infosys（NSE、BSE、NYSE：INFY）があなたの企業が次に進むためにどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに

限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2022 年会計年度（2023 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com